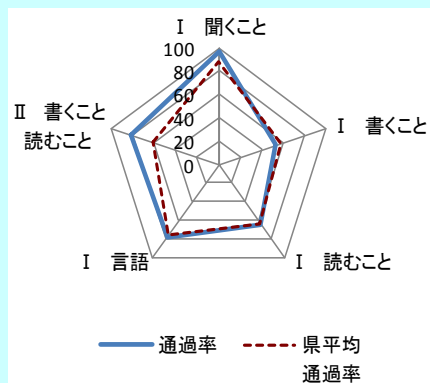
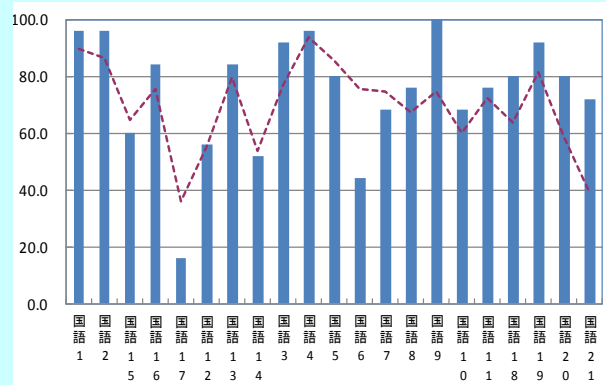


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 74.7%, 県 69.7%)

領域別平均通過率



教科別の平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
国語の結果において、タイプⅠは73.2%、タイプⅡは81.0%の通過率になっている。この結果から、知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などは概ね定着していると思われるが、一方では一部基礎的・基本的な学習内容の定着が不十分であると考えられる。
- 昨年度の課題への取組の成果
昨年度は、文章の展開に即して、登場人物の心情を的確にとらえることができることに課題が見られた(昨年度 27.3%)。そこで、文章の構成や論の展開を捉えることを意識して取り組んだ結果、文章の展開の把握については通過率 84.0%、段落相互の関係の把握については通過率 56.0%となった。しかし、引き続きの課題であると考えられる。

重点課題

- 【課題1】 四3 (本校 16.0%, 県 35.9%)
叙述の仕方に関わる問題に課題がある。一文を二文にする際、条件1の「意味を変えずに二つの文にすること。」はできているが、条件2の「『図っていきたい』に対する主語を補うこと。」ができていない生徒が80%いる。主語という概念が曖昧であるため主語がないということに気付いていない生徒と、述語に対して間違った主語を書いている生徒がいると考えられる。その結果、書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることができていない。
- 【課題2】 三5 (本校 52.0%, 県 53.7%)
文章の中の骨子にあたる内容を選択肢の中から正しく選ぶことができていない。文章の展開を追う中であらすじや要旨を捉える力がついていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

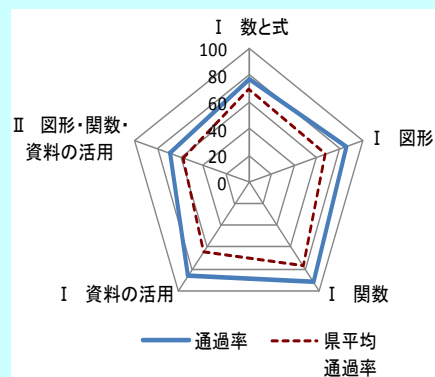
- 【課題1】
文法について、文の成分を復習させ、繰り返し練習問題に取り組みせるとともに、「書くこと」において、自分の意見や考えを構成・論理の展開・表現に気を付けて書くように指導する。また、文章の読解においても主語・述語の関係を常に意識させ、確認をしていく。意見文や鑑賞文の指導では、一文に一事項を書き、主語が不明瞭な場合は、主語を補うことを指導する。
- 【課題2】
説明的文章の読解をする際、文章の構成・展開を捉えることと内容段落の要旨をつかむ学習を意識して行う。また、文章全体の骨子を捉えて書く指導を行う。さらに、文学的文章の学習においても物語を大きく捉える一文あらすじや自分の意見を要約する学習を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年 中間試験		1・2年 期末試験	1・2年 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		60%		65%	65%		70%
実施後数値							

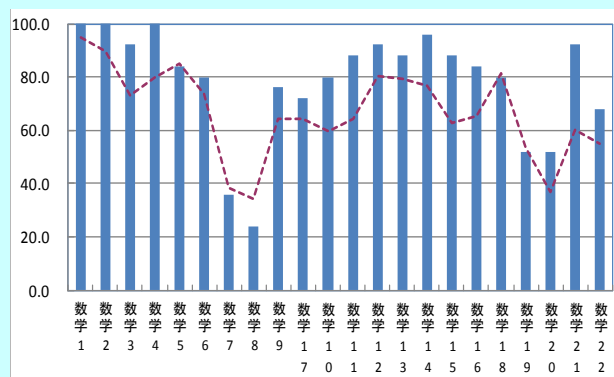
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年 中間試験		1・2年 期末試験	1・2年 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		60%		65%	65%		70%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 78.4%, 県 66.8%)

領域別平均通過率



数学科の平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について

数学の結果において、タイプⅠは81.2%、タイプⅡは68.8%の通過率になっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容は定着していると思われる。大問2の割合に関する知識や理解を問う問題の通過率が平均30%と低かった。また、タイプⅡにおいては、大問10の関数の領域で数学的な見方や考え方を問う問題の通過率が52.0%と、課題がある。また、全体の無答率が0.2%で、数学への意欲が見られた。
- 昨年度の課題への取組に対する課題

昨年度は資料の活用の領域において、相対度数や代表値についての知識や理解を問う問題について課題があった(昨年度 44.5%)。そこで、資料から平均値・中央値・最頻値をそれぞれ読み取る指導を継続的に行ったところ、中央値を求める問題では通過率88.0%、相対度数の意味を問う問題では通過率84.0%になった。

重点課題

- 【課題1】 2 (1) (2) (本校 (1) 36.0% (2) 24.0%, 県 (1) 38.2%, (2) 34.3%)

比較量が基準量×割合で求められることを理解し、数量の関係を文字を用いた式で表す問題に課題がある。基準に対して割合をかけるのではなく、誤って足したり引いたりしている生徒が5割以上いる。
- 【課題2】 10 (1) (本校 52.0%, 県 53.6%)

比例を利用して、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する問題に課題がある。事象の中で何が何の関数になっているのかを見つけることができていない生徒や、比例の表・式・グラフの特徴を用いることはできているが、数学用語を適切に用いることができていない生徒がいる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】

文字を用いて数量を表す学習や方程式などの文章問題において、数量を割合を用いて表すことを指導する。また、数と式の領域では、様々な式が表す数量を読み取る問題を繰り返し扱う指導を徹底する。その中で線分図等の手立てを利用することを指導し、式を読み取る能力を育てる。
- 【課題2】

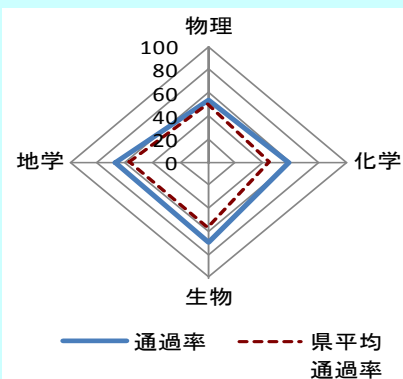
関数の授業において、常に表・式・グラフを関連付けて考え、判断した理由を説明させる活動を行う。理由を説明する際に、数学用語を正しく使う指導を徹底する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年 中間試験		1・2年 期末試験	1・2年 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		50%		60%	65%		70%
実施後数値							

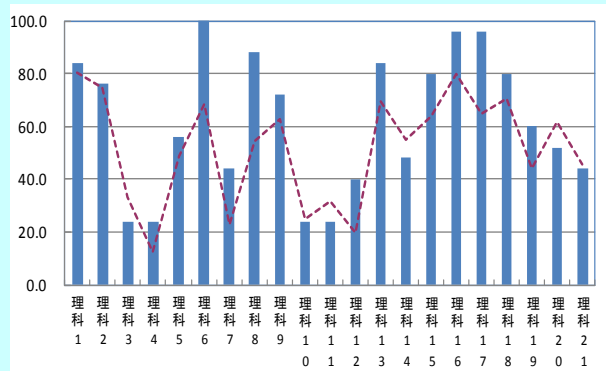
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年 中間試験		1・2年 期末試験	1・2年 市学力到達度検査		1・2年生 学年末試験
目標値		60%		70%	75%		80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 61.7%, 県 51.8%)

領域別平均通過率



教科別の平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
理科の結果について、タイプⅠは63.0%、タイプⅡは60.0%の通過率になっている。物理領域の「自然事象についての知識・理解」「観察・実験の技能」、化学領域の「自然事象についての知識・理解」「科学的な思考表現」に課題がある。
- 昨年度の課題への取組の成果
実験において、従属変数と独立変数のグラフの問題で、昨年度の通過率が31.8% (県44.8%)であったが、今年度は72.0% (県62.9%)と県平均を上回った。「科学的な思考・表現」に関しては、溶質の再結晶についての記述問題の通過率が44.0% (県平均22.6%)と成果があった。

重点課題

【課題1】 2 (1) (本校 24.0%, 県 33.1%)

物理分野の質量の意味とその測定方法を理解する問題に課題がある。質量は上皿てんびんで計れる量であることは理解できているが、質量は地球以外の星でも変わらないことへの理解が不十分である。

【課題2】 4 (4) (本校 24.0%, 県 31.4%)

実験結果を分析・解釈し、結論を導き出すことに課題がある。実験結果のデータを比較、検討、解釈し問題文に即した最適な解答を選択する点に課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

力、質量、圧力の基本的な用語を理解し、それを活用できるようにするために、具体的な道具を用意しその意味を繰り返し確認しながら定着させる。質量の測定では、電子てんびんでなく上皿天秤を使用する。また、身近な力に関する具体的な例を取り上げ、興味・関心を高める工夫をする。

【課題2】

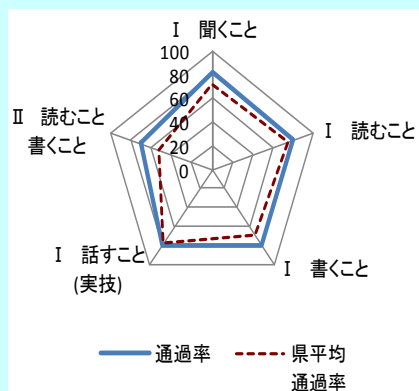
物理・化学分野の観察・実験を行い、結果を分析し考察する過程を通して、「エネルギー」「粒子」概念分野の課題の調べ方の基礎を身に付けさせる。また、実験器具の基本的な操作や記録の仕方の技術を習得させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1年 期末試験	1・2年 市学力到達度検査		1・2年 学年末試験
目標値				60%	50%		70%
実施後数値							

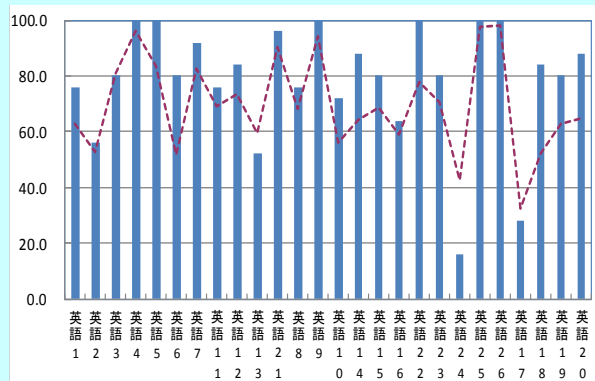
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1年2学期中間試験		1・2年 期末試験	1・2年 市学力到達度検査		1・2年 学年末試験
目標値		40%		60%	50%		70%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 78.8%, 県 69.6%)

領域別平均通過率



教科書の平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について

英語の結果において、タイプⅠは80.4%、タイプⅡは70.0%の通過率になっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、一方では、それらの知識・技能を使った応用的な問題への対応が不十分であると思われる。
- 昨年度の課題への取組の成果

昨年度は、疑問詞を用いた簡単な文を書くこと (昨年度 36.4%)、問いに対して適切に回答すること (昨年度 27.3%) に課題が見られた。そこで、疑問詞を含む基本文のインプットやそれを活用したQ&Aを行うとともに、毎時間、全体や個人など様々なパターンで、月日、曜日、天候などについて質問をした結果、今年度は同設問で72.0%、80.0%の通過率であった。

重点課題

- 【課題1】実技3 (本校 16.0%, 県 42.5%)

進行形を含む問いに対して、適切に回答することに課題がある。
誤答例 She is play the piano. / She plays the piano.
進行形を含む問いであることが理解できていない。
- 【課題2】11-1 (本校 28.0%, 県 32.2%)

情報を基に、それに関連する質問を考え、英文を書くことに課題がある。
誤答例 How much is it? / What is he want? / What he wants?
What he do you want?
疑問詞の意味が理解できていない。答えの文の意味が理解できていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】

教科書の Basic Dialog や本文に使用されている英文の動詞に線を引かせるなど、動詞に注目させ、様々な時制の問いと答え方を定着するまで繰り返し練習する。また、授業の導入時の帯活動においてそれらを活用したQ&Aをペアで行わせ、定着を徹底させる。
- 【課題2】

教科書本文などを読むときに、段落ごとの内容把握などで文と文のつながりを考えさせ、情報を整理させる。疑問詞を含む問いと答え方の基本を徹底して習得させるとともに、答えから問いを考えさせる活動を定期的に取り入れる指導を行う。小テストや単元テストにおいて、定着を確認させ、指導者は課題を把握し、課題克服を意識して次の指導を行う。

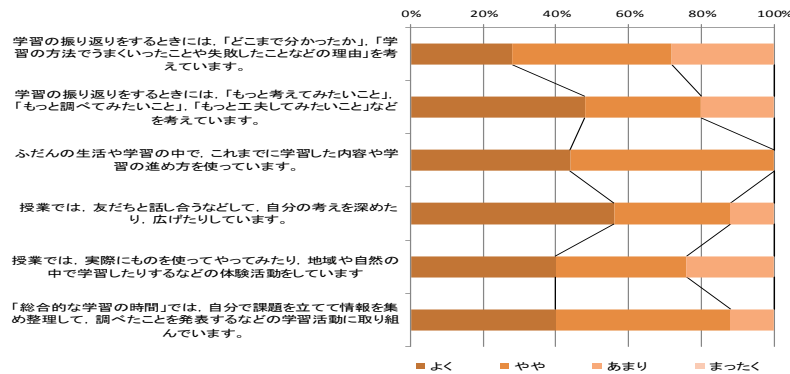
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年帯活動でのQ&A			2年 期末試験		2年 インタビューテスト	1・2年 学年末試験
目標値	70%			70%		70%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年帯活動での基本文のインプット			2年 期末試験			1・2年 学年末試験
目標値	70%			70%			80%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

（1）生活・学習

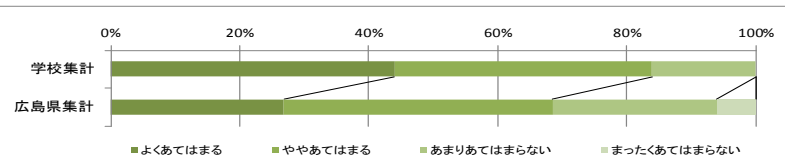
「課題発見・解決学習」(3)



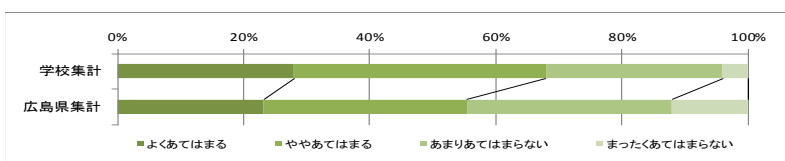
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。 (72.0%)	振り返りのキーワードの提示を行う。自己評価基準を作成するなど、各教科の振り返りシートを工夫し活用する。その評価基準にそって内容と方法について振り返りを記述させる。	全	90%	生活と学習に関するアンケート	2月		

（2）教科

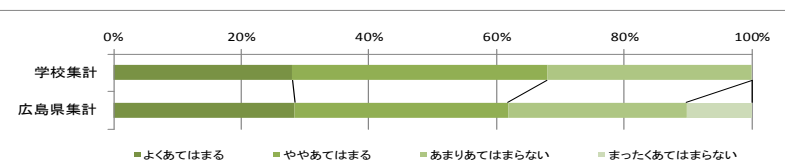
国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。



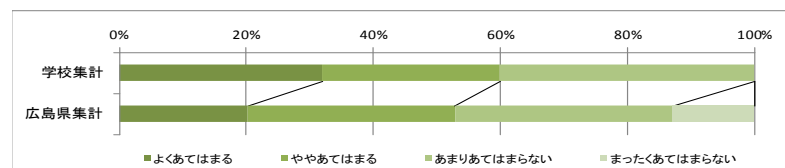
数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、学んだことの振り返りをしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業では、段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。 (84.0%)	文章の全体構成をとらえること、接続語に着目して段落同士の関係に気を付けて読むことを、意図的に授業に取り入れる。	全	90%	授業評価アンケート	2月		
数学	数学の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。 (68.0%)	授業において、式が表す数量などを読み取り、説明する活動を取り入れる。	全	90%	授業評価アンケート	2月		
理科	理科の授業では、学んだことの振り返りをしています。 (68.0%)	授業において、学習内容の確認と内容や方法の振り返りをさせる。	全	90%	授業評価アンケート	2月		
英語	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。 (60.0%)	リスニング問題などをする際、メモを取らせるようにする。教科書本文を読んだ後、感想や意見などを言わせる機会を設定する。	全	75%	授業評価アンケート	2月		